

特別勘定クォーターレポート

スイス年金

新変額個人年金保険(無配当)

ユニット・プライスの推移



※ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

参考 主な投資対象の投資信託の運用状況(出所:アパディーン投信投資顧問株式会社)

世界バランス・ファンド(適格機関投資家専用)

■ 基準価額の騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年
世界バランス・ファンド	4.25%	9.16%	9.26%	▲0.67%	7.25%

■ 資産別構成比

	ファンド	複合指数 (参考データ)	ベット
株式	51.07%	50.00%	1.07%
北米地域	31.45%	31.87%	-0.42%
欧州(除く英国)	9.32%	8.24%	1.07%
英国	1.93%	3.32%	-1.39%
日本	6.14%	4.37%	1.77%
香港・シンガポール	0.65%	0.81%	-0.16%
豪州・ニュージーランド	1.57%	1.37%	0.20%
債券	48.43%	50.00%	-1.57%
米ドル圏	19.43%	19.75%	-0.32%
欧州(除く英国)	15.82%	16.58%	-0.76%
英国	2.89%	2.85%	0.04%
日本	10.30%	10.83%	-0.53%
現預金	0.50%	0.00%	0.50%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

■ 通貨別構成比

	ファンド	複合指数 (参考データ)
米ドル圏	52.76%	51.63%
ユーロ圏	21.99%	23.16%
イギリスポンド	6.06%	6.17%
豪ドル(含NZD)	2.00%	2.17%
スイス・フラン	1.86%	1.67%
日本円	15.33%	15.20%
合計	100.0%	100.0%

* 複合指数はMSCI Worldインデックスの50%、シティ世界国債インデックスの50%を加重平均した指数

特別勘定の名称	グローバルマーケット型
主な運用対象の投資信託	世界バランス・ファンド (適格機関投資家専用)
投資信託の運用会社	アパディーン投信投資顧問株式会社

ユニット・プライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
3.97%	8.45%	8.23%	▲1.76%	3.37%	44.70%

特別勘定資産内訳

		構成比(%)
現預金	3.8%	
投資信託	96.2%	
合計	100.0%	

■ 上位10銘柄

(総組入れ銘柄数 154)

株式	国名	業種	投資比率
NOVARTIS AG-REG	スイス	ヘルスケア	1.77%
ORACLE CORP	アメリカ	情報技術	1.72%
ROCHE HLDG AG	スイス	ヘルスケア	1.68%
EOG RESOURCES INC	アメリカ	エネルギー	1.62%
CVS HEALTH CORP	アメリカ	生活必需品	1.40%
M AND T BANK CORP	アメリカ	金融	1.34%
BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	イギリス	生活必需品	1.32%
PEPSICO INC	アメリカ	生活必需品	1.22%
WHITBREAD PLC	イギリス	一般消費財・サービス	1.19%
VODAFONE GRP PLC	イギリス	電気通信サービス	1.19%
合計			14.46%

債券	クーポン	償還日	投資比率
イタリア国債	0.700	2020/05/01	3.84%
アメリカ国債	2.125	2025/05/15	2.71%
アメリカ国債	1.375	2020/08/31	2.48%
アメリカ国債	0.875	2018/10/15	2.05%
フランス国債	0.000	2020/05/25	1.76%
アメリカ国債	2.500	2045/02/15	1.63%
オーストラリア国債	1.750	2020/11/21	1.34%
スペイン国債	1.600	2025/04/30	1.27%
アメリカ国債	0.000	2017/01/19	1.02%
ドイツ国債	0.500	2025/02/15	1.00%
合計			19.09%

※当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。
※その他、3/3ページの「ご注意いただきたい事項」等を必ずご参照ください。

■運用コメント

市場概況

・日本株式

(10月) 円安を受けて大きく上昇し、日経平均株価は月末に1万7,000円台乗せとなりました。

(11月) NYダウが史上最高値を更新するなど上昇基調となったことを好感し、日本でも株式相場の上昇が継続しました。

(12月) 円安によって企業の業績改善期待が強まり、日経平均株価は1万9,000円台に回復しました。

・日本債券

(10月) 9月の日銀による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の導入を受けて、全般に動意の乏しい展開が続きました。

(11月) 株高・円安の進行を受けて日銀の追加金融緩和観測も後退し、月末の10年債利回りは上昇し0.025%となりました。

(12月) 日銀が国債買い入れオペの超長期債購入額を増額して金利上昇を抑えるなど、長期金利はほぼ横ばいの動きとなりました。

・外国株式

(10月) 海外の先進国では米国が下落、欧州がやや上昇となりました。

(11月) トランプ氏の公約である減税やインフラ投資の拡大などの政策実現への期待が強まり、米国は反発しましたが欧州では主要国市場が下落しました。

(12月) 原油価格の上昇やトランプ次期政権への景気拡大期待から先進国では上昇しました。

・外国債券

(10月) 米国で利上げ観測が高まったことで、先進国の利回りは総じて上昇しました。

(11月) 米国大統領選後に米国を筆頭に利回り上昇が加速しました。

(12月) 予想通り米国の政策金利が引き上げられたので、大きな変動はありませんでした。

・為替

(10月) 英国がEU離脱通告の期限を設定したため英ポンドは下落し、米ドルは幅広く買われて上昇しました。

(11月) 円の全面安となり、外貨では金利先高観を受けた米ドルが概ね強く、英ポンドも急反発しました。

(12月) 円が引き続き下落し、外貨では米国の2017年の利上げ見通しが年3回に増えることなどを背景に、米ドルが更に上昇しました。

運用概況

・今四半期(2016年10月～12月)のファンドのパフォーマンスは、基準価額ベースで+9.16%となりました。月別に見ると10月が+0.70%、11月が+3.98%、12月が+4.25%となります。円は主要通貨に対して大幅に下落したことで外貨建ての資産にとって為替はプラスに貢献し、債券は世界的な利回り上昇でややマイナスになったものの、株式は世界的に前四半期から更に高値が続くなど、基準価額は大幅に上昇しました。

・今四半期のパフォーマンスは、ベンチマークを下回りました。その主なマイナス要因となった銘柄選択効果は、株式部門ではほぼ全地域でリターンがベンチマークに劣後し、特に米国では3四半期にわたり不振が続きました。債券部門ではデレレーションを中立に保ってきたことで影響はありませんでした。資産および地域配分効果は全体としてはほぼゼロで、債券へのオーバーウェイトはややマイナスに、株式では全体としてややプラスながらも低迷した新興国への配分はマイナスに寄与しました。為替は、一部では豪ドルのオーバーウェイトがややマイナスになりましたが、概ね影響は限定的でした。

・今四半期の資産配分について、株式と債券の配分は期初の中立からやや株式に比重を置きました。株式について、引き続き日本をオーバーウェイトし、米国や英国をややアンダーウェイト、新興国市場にも投資を継続しています。債券については、米ドル圏において先物等を用いて前期末の米国から当期末にはオーストラリアへ振り替えました。為替に関しては、米ドルのオーバーウェイトをわずかながらも継続しました。

運用方針

・大きな割高感・割安感ともないものの、わずかに株式をオーバーウェイト、債券をアンダーウェイトにする予定です。

・株式については日本に加えて新たに欧州(英国除く)をオーバーウェイトとする一方、英国および米国のアンダーウェイトを継続する方針です。

・債券については現預金相当分も含め日本に加えて新たに欧州(英国除く)をアンダーウェイトとする方針です。

・為替に関しては金融政策の方向性の違いからわずかに米ドルをオーバーウェイト、ユーロおよび円をアンダーウェイトとする予定です。

※当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

※その他、3/3ページの「ご注意いただきたい事項」等を必ずご参照ください。

当資料はアクサ生命が新変額個人年金保険「スイス年金」の特別勘定について運用状況などを報告する資料です

ご注意いただきたい事項

▲ 投資リスクについて

この保険の据置(運用)期間中の運用は特別勘定で行なわれます。特別勘定資産の運用実績に基づいて年金額、死亡給付金額および解約払戻金額等が変動(増減)します。特別勘定資産の運用は、株式および公社債等の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあり、運用実績によってはお受け取りになる年金額や解約払戻金額の合計額が一時払保険料を下回ることがあります。これらのリスクはすべてご契約者に帰属します。

▲ 元本欠損が生じる場合があります

解約の時期、被保険者の契約年齢等の諸条件により、ご契約者等が受け取る金額の合計額が、お払込保険料の合計額を下回る場合もあります。

保険会社の業務または財産の状況の変化により、年金額、死亡給付金額、解約払戻金額等が削減されることがあります。

▲ 諸費用について

契約初期費	一時払保険料に対して 5.0% を特別勘定繰入前に控除します。
保険関係費	特別勘定の資産総額に対して(年率 0.75% +運用実績に応じた費用 ^(※))/365日を毎日控除します。 ※運用実績に応じた費用:運用実績を毎日判定し、実績が年率 1.5% を超過した場合のみ、 超過分1%あたり0.1%(上限1.25%) を控除します。
年金管理費	年金支払開始日以後、支払年金額の 1% を年金支払日に控除します。
資産運用関係費	グローバルマーケット型 年率0.7344%程度

資産運用関係費は将来変更されることがあります。

その他お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金がかかりますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。

その他ご注意いただきたい事項

- 当資料は、特別勘定の主な投資対象である投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 新変額個人年金保険「スイス年金」は、生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者様が直接投資信託を保有されている訳ではありません。
- 新変額個人年金には複数の特別勘定グループが設定されており、「スイス年金」には「特別勘定グループ(TS型)」が設定されています。保険料繰り入れおよび積立金の移転は「特別勘定グループ(TS型)」に属する特別勘定に限定されます。「特別勘定グループ(TS型)」以外の特別勘定グループに属する特別勘定への保険料の繰り入れおよび積立金の移転はできません。
- 特別勘定および特別勘定の主な運用対象となる投資信託の内容が変更されることがあります。
- 特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかに、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用等を特別勘定資産から控除していることなどによるものです。
- ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

新変額個人年金保険(無配当)「スイス年金」は現在販売しておりません。

[募集代理店]

株式会社東京スター銀行



東京スター銀行

0120-330-655

(平日 9:00~21:00 土日祝 9:00~17:00 年末・年始を除く)

ホームページ / <http://www.tokyostarbank.co.jp>

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-933-399

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>